

高等学校日语教材

现代日本人的风俗习惯

马凤鸣 主编
刘桂敏 副主编



大连理工大学出版社

高等学校日语教材

現代日本人の風俗習慣



现代日本人的风俗习惯

主 编 马凤鸣
副主编 刘桂敏

大连理工大学出版社

· 图书在版编目(CIP)数据

现代日本人的风俗习惯/马凤鸣主编. —大连:大连理工大学出版社,2001.3

(高等学校日语教材)

ISBN 7-5611-1884-8

I. 现… II. 马… III. 风俗习惯-日本-现代-高等学校-教学参考资料 IV. K893.13

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2001)第 12332 号

大连理工大学出版社出版发行
大连市凌水河 邮政编码 116024
电话: 0411-4708842 传真: 0411-4708898
E-mail: dutp@mail.dlptt.ln.cn
URL: http://www.dutp.com.cn
大连理工大学印刷厂印刷

开本: 850 毫米×1168 毫米 1/32 字数: 351 千字 印张: 13.25

印数: 1—6000 册

2001 年 3 月第 1 版

2001 年 3 月第 1 次印刷

责任编辑: 王佳玉 宋锦绣

责任校对: 萧音

封面设计: 金中

定价: 18.00 元

编者的话

在日本工作期间,接触了日本的风土人情,因此对日本的风俗习惯产生了浓厚的兴趣。中日两国虽是近邻,但毕竟是一海相隔的两个国家。由于历史、地理、气候、文化上的差异,形成了日本特有的风俗习惯,更感到有责任编辑一本书,把日本的风俗习惯介绍给广大日语专业的学生及日语工作者。

改革开放以来,我们与日本的文化交流和贸易往来日趋频繁,因此不少人有机会去日本学习或工作,即使在国内也有许多人从事涉外工作——在外经、外贸、外交方面从事对日工作,或者就业于日本独资、中日合资企业,随时要跟日本人打交道。只懂日语而不了解日本的风俗习惯,很难使工作做得圆满,收到事半功倍的效果,甚至有时会产生误解和纰漏。

该书是采取中日对照的形式编写的,适合于不同日语水平的人,即使不懂日语的人也可参考中文达到了解日本风俗习惯的目的。因为是介绍日本人的风俗习惯,不可能按照中国的标准来取舍材料,难免有的地方带有迷信色彩,望读者能加以鉴别,要取其精华,去其糟粕,真正做到为语言学习服务。

由于水平有限,很可能有不当之处,诚望得到专家、学者及读者的指正。

最后,对在编写本书过程中给予大力支持的日本专家和任长利同志表示感谢。

编者

2001年3月于大连

目次

第一部分 年中行事と祭事/一年内的传统节日和祭典	
一、主な年中行事/主要的传统节日	1
二、国民の祝日/全国性的节日	4
三、郷土色豊かな祭りや伝統的行事/乡土气息 濃郁的祭典和传统仪式	7
四、外国と異なる日本の習慣事/日本与外国 不同的习惯	13
五、正月のこと/正月	14
六、門松/门松	15
七、おせち/年节菜	17
八、除夜の鐘/除夕的钟声	18
九、初詣で/初次参拜神社	20
十、初夢/初梦	21
十一、年始まわり/拜年	22
十二、お年玉/压岁钱(年礼)	23
十三、雑煮/年糕汤	25
十四、屠蘇/屠苏酒	26
十五、仕事始め/开始工作	27
十六、大福茶/大福茶	28
十七、七草粥/七草粥	29
十八、葺開き/开市	31

十九、七福神詣で/参拜七福神	32
二十、繭玉/茧状年糕	32
二十一、小正月/小正月	33
二十二、鏡開き/开镜饼	34
二十三、恵比須講/恵比須福神节	35
二十四、節分/节分	37
二十五、お彼岸/彼岸	39
二十六、初午/二月的第一个午日	42
二十七、針供養/忌针节	43
二十八、雛祭り/偶人节	45
二十九、花見/赏樱花	47
三十、花祭り/浴佛节	49
三十一、子供の日/儿童节	51
三十二、衣がえ/换装	53
三十三、祇園祭り/祇园祭	54
三十四、七夕祭り/七夕节	56
三十五、孟蘭盆会/盂兰盆会	58
三十六、盆踊り/盂兰盆会舞	62
三十七、大文字焼/大字火	63
三十八、文化の日/文化日	65
三十九、古本祭り/古旧书庙会	66
四十、勤勞感謝の日/勤劳感谢日	67
四十一、酉の市/酉市	68

第二部分 風俗習慣/风俗习惯

一、着物/和服	70
---------------	----

二、名刺/名片	72
三、名刺の使い方/名片的使用方法	73
四、判子/戳子	78
五、風呂敷/包袱皮	79
六、そろばん/算盘	81
七、土用の丑/土用(暑伏)的丑日	82
八、八十八夜/立春后第八十八天	84
九、雪国/雪国	85
十、船霊/船体守护神	89

第三部分 お祝いと返礼/贺礼与还礼

一、帯祝い/庆祝束带	92
二、出産祝い/祝贺出生	93
三、お七夜/出生第七天命名式	95
四、宮参り/参拜神社	97
五、お食い初め/初次进食	98
六、初節句/第一次过民俗节	100
七、初誕生日/第一个生日	101
八、七五三/“七五三”节	102
九、入学・卒業・成人祝い/祝贺入学、毕业、成人…	104
十、結婚祝い/结婚贺礼	106
十一、結婚記念日/结婚纪念日	107
十二、長寿祝い/祝贺长寿	110
十三、快気祝い/祝贺病愈	111
十四、新築・移転・開店祝い/祝贺盖新房、 搬家和开业	113

第四部分 娛樂/娱乐

一、パチンコ/彈子球	116
二、碁・将棋・麻雀/围棋、日本象棋、麻将	118
三、たこ揚げ/放风筝	121
四、じゃんけん/划拳	122
五、双六/双六	122
六、賭け事/賭博	124
七、百人一首/百首和歌紙牌	125
八、カルタ/紙牌	127
九、羽根つき/打羽毛毬子	128

第五部分 結婚/结婚

一、見合い写真と覚え書を用意する/准备相亲	
照片和材料	130
二、見合い/相亲	131
三、仲人/媒人	133
四、結納品と婚約指輪/订婚礼品和订婚戒指	134
五、結納金/订婚礼金	135
六、結納品/订婚礼品	136
七、結納目録の署名/在订婚礼品目录上签名	138
八、正式な結納と仲人/正式的订婚礼品和媒人	139
九、婚約指輪/订婚戒指	141
十、神前結婚式/神前结婚典礼	143
十一、三三九度の杯/交杯酒	145
十二、玉串奉奠/向神前谨献玉串	146
十三、キリスト教結婚式/基督教结婚典礼	147

十四、仏前結婚式/佛前结婚典礼	148
十五、家庭結婚式/家庭结婚典礼	150
十六、人前結婚式/人前结婚典礼	152
十七、挙式日の決定/决定婚礼日期	153
十八、挙式までのスケジュール/举行婚礼之前 的日程安排	155
十九、披露宴の招待状/婚宴邀请信	156
二十、新郎新婦の服装/新郎新娘的服装	158
二十一、宴会場の世話役/结婚宴会的组织者	159
二十二、披露宴の司会者/婚礼宴会的主持人	161
二十三、引き出物の選択/选择赠给客人的礼品	162
二十四、挙式費用の分担/婚礼费用的分担	163
二十五、親族紹介/介绍亲属	164
二十六、色直し/换衣服	165
二十七、ハネムーン/蜜月旅行	166
二十八、婚姻届/结婚登记	169
二十九、結婚通知状/结了婚的通知书	170
三十、仲人への謝礼/给媒人的谢礼	171

第六部分 訪問ともてなし/访问和招待

一、訪問のマナー/访问的规矩	173
二、訪問先での心得/在访问处的注意事项	177
三、履き物の並べ方/鞋子的摆法	191
四、上座とはどこか/哪儿是上座	192
五、おじぎのポイント/行礼的要点	193
六、茶菓子が左側、茶碗が右側に/茶点放在客人	

的左边,茶碗放在右边……………	199
七、コートは玄関で身につける/外衣在门口穿……	197

第七部分 日本料理と飲みもの/日本菜肴和饮料

一、日本料理/日本菜肴……………	199
二、会席料理/会席料理……………	200
三、懐石料理/怀石料理……………	208
四、日本酒/日本酒……………	222
五、茶の分類/茶叶的分类……………	233

第八部分 会食とパーティー/会餐和聚会

一、日本料理は皿ごととりあげて食べる/日本菜 可端起盘子吃……………	240
二、嫌い箸/用筷子的忌讳……………	241
三、ナイフ・フォークの使い方/刀叉的用法……………	243
四、ワインは食中酒の代表的な存在/葡萄酒是 典型的餐中酒……………	245
五、パーティーの種類/聚会的种类……………	247
六、パーティーの心/聚会的意义……………	248
七、その他のパーティー/其他的聚会……………	250
八、食事の中のタブー/吃西餐的禁忌……………	256
九、パーティーの服装/聚会时穿的服装……………	261
十、パーティー料理/宴会的菜肴……………	262
十一、会場では積極的に社交を/在会场上积极地 进行社交活动……………	263

第九部分 贈答とお見舞い/贈答和探望

- 一、中元・歳暮/中元节・岁末礼品 266
- 二、手みやげ/随手携带的礼物 267
- 三、欧米風のプレゼント/欧美式的礼品 268
- 四、花ことば/花象征的意义 270
- 五、和風の包み/和式包装 273
- 六、水引とのし/礼品绳和礼签 275
- 七、何のために贈るか表書きを書く/在封面上
 标明为什么送礼 276
- 八、贈り物のさしだし方/贈送礼品的方法 279
- 九、病氣見舞い/探望病人 281
- 十、病氣見舞いの品を届ける/给病人贈送
 慰问品 282
- 十一、火事や災害のお見舞い/对火灾等其他
 灾害的慰问 203
- 十二、陣中見舞い/对在现场紧张工作的
 人的慰问 285

第十部分 葬儀/葬礼

- 一、危篤の通知/病危通知 287
- 二、末期の水/末期润水 288
- 三、死亡届/死亡报告 289
- 四、遺体の処理/遗体的处理 291
- 五、枕直/遗体要头朝北 292
- 六、枕経/灵前经 293
- 七、二親等まで死亡の知らせを/死亡要通知到

二等亲	295
八、戒名/戒名	296
九、喪主と世話役/喪主和治喪委员会	298
十、死亡通知/死亡通知	301
十一、棺の中に入れるもの/放在棺材里的东西	303
十二、通夜/守夜	304
十三、通夜式の席順/守夜的顺序	305
十四、通夜の服装/守夜时的服装	307
十五、香典/莫儀	308
十六、葬儀と告別式/葬礼和告別儀式	310
十七、焼香と服装/烧香和服装	313
十八、くぎ打ちと出棺/钉棺材和出殡	316
十九、火葬場/火葬场	317
二十、骨あげ/收骨灰	319
二十一、遺骨を安置する祭壇/安放骨灰的祭坛	320
二十二、精進落とし/开斋的宴席	322
二十三、葬儀後のあいさつ回り/葬礼后去致谢	323
二十四、お布施/布施	325
二十五、香典返し/对莫儀的还礼	326
二十六、形見分け/分遗物	327
二十七、初七日と忌明けの法要/头七和七七 的法事	328
二十八、三と七がつく年回忌/逢三和七的周年	330

第十一部分 手紙と電話と電報/书信、电话和电报

一、手紙を丁寧に書くこと/写信要工整	332
--------------------------	-----

二、白色無地の便箋に縦書きが正式/正式的书信 用白色无花纹的信箋竖着写	333
三、あて名は正確な文字で書くこと/收信人的 姓名住址要写准确	335
四、手紙文の組み立て方/书信的基本格式	336
五、常套句の使い方/惯用語的用法	342
六、手紙における尊敬と謙讓/信件中的 尊敬和自谦	357
七、文末の文体/句末の文体	372
八、季節のあいさつ語/时令问候语	375
九、あいさつ/问候	381
十、ハガキの書き方/明信片の写法	385
十一、電話のかけ方/电话的打法	386
十二、電話でも大事な用件はメモしておくこと/ 打电话时重要的事要记下来	387

第十二部分 慶弔電報用語一覽/

庆吊电报用语一覽	390
----------------	-----

付録

一、日本歴届総理大臣	394
二、日本の主要都市人口	397
三、日本の統治機構	398
四、各国の国民総生産と1人あたり国民所得	399
五、国民総生産産業別割合	400
六、日本の主要耐久消費財の普及率	401
七、東京の主要食料品の小売物価	401

八、主要資源対外依存度	402
九、各国の食用農産物自給率	402
十、粗鋼生産量・粗鋼 1 人あたり消費量	403
十一、日本の原油輸入先	404
十二、日本の学校体系図	405

✽ 第一部分 ✽
年中行事と祭事
一年内的传统节日和祭典



一、主な年中行事

1. 元日(1月1日): 新年の^{かどで}門出を祝う日である。元日から1月3日までの3日間を、「お正月」または「三が日」といって完全に仕事を休む。「正月」とは本来「1月」のことであるが、慣習的にこの3日間を指すようになっていいる。神社に参詣したり、知人宅を訪問して新年のあいさつを交わし、酒を飲み、正月独特の料理(おせち料理)を食べたりして楽しむ。子供はカルタ遊びやたこ揚げ、羽根つきなどをする。正月には、門には^{しめ縄}注連縄を張り、松飾りをつけ、または門松をたてる。門松は、神の降臨するための樹木をたてるという意味がある。松飾りのある期間は元日から7日まで(昔は15日まで)で、この期間を「松の内」ともいう。
2. 節分(2月3日または4日): 太陰太陽暦の立春の前日をいい、節分の夜に各家庭では「鬼は外、福は内」ととなえながら家の内外に大豆をまき、鬼(災い)を追い払って戸口を閉ざす行事が行なわれる。
3. ひなまつり(3月3日): 女の子の将来の幸福を願うお祭りである。昔の宮廷の風俗を模したきれいなひな人形を桃の花と一緒に飾る。もち米の粥にこうじをまぜて醸造した酒(しろざけ)を飲んで楽しむ。
4. 端午の節句(5月5日): 男の子が健やかに育つことを願うお

祭りである。武士の人形を飾り、邪気を払うための菖蒲を軒に差し、鯉のぼりをたて、柏餅を食べて楽しむ。

5. セタ(7月7日):中国伝来の風習と、日本固有の信仰とが結合したものといわれている。天の川(銀河)の兩岸にある牽牛星と織女星とが、年に1度あうことを祝うお祭りである。庭前に供物(とうもろこし、なすなど)をし、歌や字を書いた5色の短冊を笹竹につけて飾り、織女星にあやかって女兒の手芸の上達を祈る。
6. お盆(8月15日の前後数日):種種の食物を祖先の霊に供えてその冥福を祈る。都会に働きに行っている者は郷里に帰る。なお、東京などの大都市では7月に行なうところもある。各地の町や村で盆踊りが行なわれ、ゆかた姿で多くの人々が参加するが、これは日本の夏の風物詩の一つである。
7. 月見(陰暦8月15日夜および9月13日夜「満月の夜」):すすきを飾り、お酒とだんごを月に供え、月を見ながら秋の夜を楽しむ。
8. お彼岸(春分の日と秋分の日を中心とした前後7日間):彼岸とは向こう岸の意味で、仏教ではさとりの世界のことである。先祖の^{せんぞ}霊^{たま}を呼び、仏事を行ない、墓にお詣りする。
9. 七五三:男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳にあたる11月15日に、子供の成長を祝い、晴着を着せて神社に詣る。奇数をめでたい数とし、そのうちから三つを取ったものである。
10. クリスマス:日本には洗礼をうけたクリスチャンの数は多くないが、かなりの人が一種のお祭りの的なものとして、クリスマスイブを楽しむ。子供にとってはサンタクロースのプレゼントが楽しみである。

1. 元旦(1月1日):是祝贺新年开始的日子。从元旦到1月3日的三天期间叫“お正月”或者叫“三が日”,三天放假不工作。本来“正月”是指一月,但是现在习惯上指正月的前三天。在此期间以参拜神社、到朋友家拜年、饮酒、吃独特的过年饭菜为乐趣。小孩玩纸牌、放风筝、打羽毛毽子等。新年期间在门前挂上稻草绳、扎上松枝或者立起门松。立门松表示迎接神的降临。装饰门松是从元旦到7日期间(过去是到15日),这一期间叫“松の内(装饰门松期)”。

2. 节分(阳历2月3日或4日):指阴历立春的前一天。节分的夜里,家家户户一边喊:“驱鬼纳福”,一边向屋内外撒大豆,举行驱鬼避灾关门窗的仪式。

3. 女孩节(3月3日):是祈求女孩未来幸福的节日。模仿以前宫廷风俗,将漂亮的偶人和桃花一起装饰起来,以饮糯米甜酒为乐趣。

4. 端午节(阳历5月5日):是祈祷男孩茁壮成长的节日。这一天,摆上武士偶人,在房檐处插上避邪的菖蒲,升起鲤鱼旗,吃榊树叶饼,其乐融融。

5. 乞巧节(阳历7月7日):据说是从中国传来的风俗和日本固有的信仰相结合的产物。是祝贺相隔在天河(银河)两岸的牵牛星和织女星一年一度相见的节日。院子里摆上供品(玉米、茄子等),在低矮的竹枝上,系上写有和歌和心愿的五彩纸片,祈祷女孩子的手工艺做得像织女星一样好。

6. 盂兰盆会(阳历8月15日前后数日):在祖先的灵位前,供奉各种食品,祈祷其冥福。去城市工作的人返归故乡。另外,在东京等大城市也有在7月15日举行的。在各地村镇举行盂兰盆会